



Go郷トライ塾 No.3 2008.10.30

Go郷通信

子どもたちの心の居場所を目指して

緑一色だった山が赤や黄色の色をつけ、錦の衣装を身にまとったような紅葉の季節を迎えました。今年の紅葉は例年に無く色鮮やかで、とてもきれいです。なぜ、木々は葉を落とす時、赤や黄色に色を変えるのでしょうか。

さて、5月から実施し、年間60回を予定しているこのGo郷トライ塾もちょうど半分を過ぎたところです。参加児童は低学年を中心に、毎回とても楽しくそして熱心に活動しています。一方、1年生からGo郷トライ塾に参加している3年生の子どもたちが、今は小学校の吹奏楽クラブに入り最近Go郷トライ塾の活動に顔を出さなくなったのを淋しく感じます。水曜日はクラブがお休みだったらいいのになぁと一人つぶやいています。

毎回このコーナーでは子どもたちの様子やスタッフの想い、また、事業の目的や目標など、保護者の皆様に伝えたいことをつたない文章で書かせていただいておりますが、今回は感じ気づいたことをお伝えしようと思います。

時は6月、七夕飾りを作る活動の日、低学年の男の子がずっと聞くに堪えないことを口走っていたので、私は、注意をしました。そして、その日、この男の子はまた違うスタッフからも注意を受けました。心のやり場が無くなった男の子は、泣きながらランドセルを背負って帰ろうとするので止め、「あなたはどうしたいの?」とたずねると、「どうせぼくの言うことなんか、だれも聞いてくれない」と言ってさらに大きな声で泣き叫びました。手がつけられない状態なので、しばらくそのままにしておいたら、機嫌をなおし、活動に戻ったので良かったと思ったのですが、その男の子は、その日を境に活動に顔を見せなくなりました。私は「どうせぼくの言うことなんかだれも聞いてくれない」と何かを訴えていたその男の子のことがずっと気になっていました。

ある研修会で子どもの叱り方についてのお話があり、一旦は子どもの主張を受け止め、その上でいいこと悪いことをきちんと教えることが大切だと言われ、あの時の私に欠けていたことを気づかされたのです。もう一度チャンスがほしいと思いました。そして、運動会でその男の子に会う機会が巡ってきました。今がチャンスだと思い呼び止め「君最近Go郷トライ塾に来ないから淋しいよ。」と言うと、「もう、ぼくやめたから行かない。」と言われ、「待ってるから、おいでよ。」というと「無理」と言われました。逃げるようにその場を去ろうとするその子の背中に向かってもう一度「待ってるからね。」と声をかけましたが、おそらくもうこないだろうとがっかりしていました。

しかし、次の活動日に参加してきたのです。涙が出ました。目の前の厚い雲の隙間から光が射したような気分でした。男の子は前と変わりなく、常に文句を言ったりつまらないという素振りを見せませんが、私とこの子の間には前と違う何かがつながったように思います。そして私たち子どもと接するスタッフも知識を蓄え、学ぶことが必要だと感じました。

この経験を生かし、私たちスタッフも積極的に研修を受け、子どもたちの心のケアや接し方について学び、子どもたちの心が安らげる居場所を目指そうと努力しています。

9・10月の活動紹介

ノンプログラム 9月3日(水)

「見て見て、ほら乗れるようになったよ！」子どもの得意顔(^o^)

初めは支えてもらってようやく立たたのに、あっという間に竹馬に乗れるようになっていました。子どもの運動神経には驚かされます。そして、小さいうちにこういったバランス感覚を身につけておくことが、大切なんですね。



かわいいポップコーン屋さん 9月7日(日)



今年も運動会で、かわいいポップコーン屋さんの模擬店を出店しました。

G o 郷トライ塾、本郷二小寺子屋教室それぞれの子どもたちがポップコーンの引換えや袋詰めなど各自の役割を担って一生懸命取り組んでいました。一人ひとりの小さな力が集まって、運動会の運営の大きな力となりました。

アートセラピー 9月10日(水)

悲しい絵と楽しい絵を一枚ずつ描いた後、それぞれちぎり、それをまた大きなハートの紙に貼りつけました。

悲しい絵は簡単にちぎってしまうのに、楽しい絵はなかなかちぎることができませんでした。そして、大きな紙に貼りつける時も、楽しい方にはたくさん子どもたちが集まるのに、悲しい方へ行きたがる子どもはいませんでした。



ハーモニーほんごう協力事業



金成さんと遊ぼう！ 9月17日(水)



金成篤志さんのアイデアで毎回子どもたちにいろんな遊びを教えてくださいたいです。

今回は坂を転がるおもちゃを作って遊びました。上手く転がるための条件があり、子どもたちがそれを理解して工夫することはなかなか難しいことのようにです。繰り返して行くと気づくことができるようになるのですが、時間がなかなか確保できないのが、悩みの種です。



ドミノに挑戦！ 9月24日(水)



子どもたちみんなが夢中になってドミノ遊びを楽しみました。

ドミノは、想像力・創造力・集中力・協調性が養われ、いく度もの失敗の後に並べきった達成感を味わい、苦勞して並べたドミノが次々に倒れていく時には熱い感動を味わうことができる教育的効果が大きい遊びです。

特集 きのこのシリーズ



第1回 5月31日(土) きのこの菌を植えよう！とモリアオガエルの生息地を訪ねよう！



第2回 8月9日(土) きのこの観察とそばうち



第3回 10月25日(土) きのこの収穫と木工クラフト



春きのこの植菌とアオモリガエルの生息地を訪ねよう！夏きのこの観察とそば打ち！秋きのこの収穫とネイチャークラフトと、きのこの栽培と体験活動を組み合わせたシリーズとして3回にわたり実施してきました。そして、紅葉まっさかりの中、最終回を迎えました。

まず、きのこを収穫してそれを使いたいも汁を親子で調理しました。きのこの収穫の際は、子どもたちはなめこのヌルヌルが「気持ち悪い」と戸惑っていましたが、すぐに慣れ収穫を楽しんでいました。

いも汁は親が調理すればあっという間にできてしまいますが、「何事も経験、子どもたちにやらせてみてください。」とお願いし、子どもたちを中心に調理を始めました。そして、包丁の使い方や野菜の切り方が分からない子どもたちを、親が手をとりながら一緒に調理しました。

次は、自然の木の实や枝などを使ってネイチャークラフトを楽しみました。親子でアイデアと知恵を出し合い、すばらしい作品が出来上がりました。文化祭に展示しますのでぜひご覧ください。

また、3回それぞれにお世話になった地域の方々も参加され、交流を深めました。

親子のふれあい、自然とのふれあい、植物とのふれあい、地域の方々とのふれあいと、多くのふれあいの場となったこの「きのこのシリーズ」は大変意義深い活動であると言えます。この活動を全面的に支援して下さった峠の楽庵のご主人歌川幸喜さん、そして、歌川さんの呼びかけで快く活動のサポートをして下さった地域の方々に心より感謝いたします。ありがとうございました。

11月・12月



G O 郷トライ塾活動予定表

	実施日時	会場	内容	付記(準備品等)
1	11月2日(日) 10:00~12:00	本郷体育館	木工クラフト体験教室 (文化祭参加事業)	製作には30分ぐらい時間を要します。11時30分までに体育館体験コーナーにて受付をして、参加してください。
2	11月5日(水) 15:00~16:30	本郷公民館	ノンプログラム	
3	11月12日(水) 15:00~16:30	ハーモニーほんごう	むかしばなし	ハーモニーほんごう協力事業
4	11月19日(水) 13:30~16:30	本郷老人福祉センター 本郷公民館	花いっぱい運動 ノンプログラム	軍手、移植ベラ
5	11月22日(土) 10:00~12:00	本郷公民館	親子陶芸教室	詳しい内容は別途連絡します。
6	11月26日(水) 15:00~16:30	本郷公民館	ノンプログラム	
7	12月4日(木) 13:30~16:30	本郷公民館	金成さんと遊ぼう!	
8	12月5日(金) 13:30~16:30	本郷老人福祉センター 本郷公民館	おやつを作ろう!	エプロン、三角巾 食改善推進員ポテトの会協力事業
9	12月10日(水) 15:00~16:30	本郷公民館	ノンプログラム	
10	12月13日(土) 9:00~12:00	本郷公民館	図書室まつり	
11	12月17日(水) 15:00~16:30	ハーモニーほんごう	こものづくりに挑戦!	ハーモニーほんごう協力事業
12	12月22日(月) 14:00~16:30	本郷公民館	クリスマス会	

連絡 (子どもたちの安全を守るため、以下の事項について厳守願います。)

活動日の朝、参加の有無を必ずお子様と確認してください。また、欠席する際は、公民館へ連絡するか、迎えに行った安全管理員に申し出るようお子様へ話してください。